

同時資料提供

大阪市政記者クラブ  
大阪科学・大学記者クラブ  
大阪教育記者クラブ  
南大阪記者クラブ  
関西レジャー記者クラブ

平成26年5月9日  
大阪市立自然史博物館  
Tel: 06-6697-6222

## 大阪市立自然史博物館 第45回特別展

### 「ネコと見つける都市の自然 一家の中から公園さんぽ」

を開催します

大阪市立自然史博物館では、平成26年7月19日（土）から10月13日（月・祝）まで、特別展「ネコと見つける都市の自然 一家の中から公園さんぽ」を開催します。



家の中から公園まで、都市にはさまざまな生きものが暮らしています。そうした都市の生きものの暮らしと変遷をネコと一緒に探し、都市生態系について考えます。

都市には自然がないといった言い方をされることがありますが、そんなことはありません。山や川や海とは違いますが、都市には都市の自然があります。あちこちに虫が暮らし、公園にもビル街にも鳥の姿があります。都市に自然がないのではなく、気付いていないだけなのです。こうした意外と豊かな都市の自然に気付いてもらおうと、この特別展を企画しました。

今回は展示全体の案内ネコとして、「ニャン太郎」が登場します。パネルや展示の随所で、ニャン太郎が「ニャンだろう？」と都市の自然を紹介していきます。

○プレス内覧会を、開幕前日の平成26年7月18日（金）午後0時30分より、自然史博物館本館集会室で行います。プレス内覧会取材申込書にて前日までにファックスでお申込みください。なお、一般内覧会も午後2時より引き続いて行います。

○広報用写真、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。  
広報写真申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。

## I. 開催概要

1. 名称 特別展「ネコと見つける都市の自然 一家の中から公園さんぽー」
2. 主催 大阪市立自然史博物館
3. 会期 平成26年7月19日(土)～10月13日(月・祝)  
※開館時間：9：30～17：00(入館は16：30まで)
4. 休館日 月曜日(ただし、月曜日が休日の場合はその翌日)
5. 会場 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール  
(花と緑と自然の情報センター2階)  
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23  
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225  
HP：http://www.mus-nh.city.osaka.jp/  
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m  
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m  
ホームページ http://www.mus-nh.city.osaka.jp/
6. 観覧料 大人500円、高校生・大学生300円  
※本館(常設展)とのセット券は、大人700円、高大生400円。  
※中学生以下、障がい者手帳など持参者(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明)。30人以上の団体割引あり。  
※本館(常設展)、長居植物園への入場は別途料金が必要です(セット券を除く)。

## II. 展示の構成・内容

**都市環境の概要：**都市環境の特性、地形、地盤、あるいは緑地の歴史を写真や図表によって紹介します。

**都市で暮らす生きものとその変遷：**代表的な都市環境として、家の中と公園を大きく取り上げ、それぞれで暮らす生きものと、時代とともに移り変わっていく様子を、標本、画像、図表を使いつつ、ネコのニャン太郎が「ニャンだろう?」と案内します。

**外来生物：**都市の自然の特徴の一つは、人が持ち込んだ外来生物が多いことです。それは都市の生きものの変遷の大きな部分を占めています。またもやネコのニャン太郎の案内で見えていきます。

**都市における人と生きものの軋轢：**人の暮らしと生きものとの暮らしが接している都市では、両者の軋轢も多くなります。食品に生えるカビ、家屋に住み着く虫やネズミなどの動物、近年都市で増えているスズメバチやアシナガバチの問題、カラスの巣やムクドリやアヒナガバチの集団ねぐら。さまざまな軋轢の実態と、生態学の視点での対応の仕方を提案します。もちろんネコのニャン太郎が登場。



アシナガバチの巣

**これからの都市における生きものとの共生：**人と生きものの距離が近い都市環境は、軌轢の一方で、生きものを楽しむのにうってつけの場でもあります。都市で生きものを楽しむ方法、そして共生の方向性を提案します。

**長居公園の自然：**代表的な都市公園として、長居公園の自然を紹介します。2014年4月に市民と一緒に実施する長居植物園の池の生きもの調査の成果も展示します。

**生品展示：**家の周辺の害虫、都市公園の池の動物、都市で生きぬいている両生爬虫類など、さまざまな動物を生品で展示します。また、外来種を中心に、植物の生品展示も行います。

### 展示予定品（一部）

- ・セミのぬけがら約10万個

夏になると鳴き始めるセミは、夏の風物詩ですが、関西の都市公園にはクマゼミが多く、騒音とまで呼べるレベルになっています。大阪市西区靱公園では毎年、セミのぬけがら調査を開催しています。2009年以降の5年間で集められたセミのぬけがら約10万個を一挙に展示し、そのセミの多さを実感していただきます。



2013年の靱公園のぬけがら(約1万7千個)

- ・兵隊虫遊びの思い出

大阪湾岸の小学校では1970～80年代ごろ、兵隊虫遊びが流行っていました。皮膚炎を起こすツマグロカミキリモドキを腕でつぶして根性試しをするというものでした。今はほとんど見られなくなったツマグロカミキリモドキの標本や遊びの分布、また遊びのあとに腕にできる悲慘な水膨れなどを紹介します。

- ・都市の中の社寺林と黄金御殿

コンクリートやアスファルトに覆われた都市部では、都市公園や社寺林が緑のあるオアシスになっています。このような場所にわずかに残された多くの生物を紹介します。また、「黄金虫」の歌が流れる謎の建物「黄金御殿」では、都市部に多くすむ、とある昆虫に関するエピソードも紹介します。

- ・アシダカグモ vs. ゴキブリ（動画）

住宅内でしばしば見つかるアシダカグモ。成長すると手のひらほどになる大きなクモで、たいへん気持ち悪いですが、実はゴキブリを食べてくれます。ゴキブリを食べている様子を動画で紹介します。



ゴキブリにかぶりついているアシダカグモの幼グモ

### Ⅲ. 広報用資料写真・画像（これらの資料は広報目的でのみご利用いただけます）

#### 1. ノネコ

野外で自由に暮らし、繁殖しているネコを、ノネコといいます。ノネコは、強力な捕食者で、地域の生態系に大きな影響を与えます。とくに地上で暮らす小動物には大きな脅威になります。



#### 2. (左) イエバエ (右) アカイエカ (家の中の虫 拡大模型)



家の中では、人類の生活と関わった昆虫も多くすんでいます。生ゴミなどをたべるクロゴキブリやイエバエ（写真左）、血を吸うアカイエカ（写真右）、木製品に穴をあけるヒラタキクイムシなどです。これらを拡大した模型を、生活感ある人家の造作とともに展示します。

#### 3. セイヨウタンポポ

セイヨウタンポポはヨーロッパ原産の外来植物で、都市部を中心に生育しています。タンポポは誰でも名前を知っている身近な植物であり、大規模な市民調査も行われています。在来のタンポポと外来のタンポポの違いや市民調査でわかってきたタンポポの分布変遷などを展示します。





#### 4. ツバメ

現在、ツバメは、必ずといっていいほど、人家などの建物に巣をかけます。人の動きが多い場所には、カラスがあまり寄りつかないので、人をカラスなどの捕食者除けに利用しているのではないかと考えられています。



#### 5. カラスの巣

大阪や東京など、都会のカラスの巣には、しばしば針金ハンガーが使われています。周囲に樹の少ない場所では、ほぼ針金ハンガーだけでできたカラスの巣を見かけることもあります。



#### 6. ハシブトガラスの雛

巣立ったばかりのカラスの雛は、まだあまり飛べません。巣の近くの枝にとまって、親がエサを運んでくれるのを待っていることが多いのですが、雛が地面に落ちてしまうこともしばしばです。雛が落ちてしまったら、親カラスは、ネコや人などの敵が雛に近づかないか見守りつつ、そのままエサを運び続けます。



## 7. アシナガバチ

アシナガバチは街なかでもよく見られる身近な虫です。刺す虫として嫌われますが、一方でガの幼虫を狩る益虫としての一面ももちます。本展示ではこのような”害虫”と人とのつきあいかたについても紹介します。



## 8. ボーリング標本

自然史博物館では、大阪市内の学校や市営住宅等のボーリング標本を収集してきました。それらを対象に市民参加型の標本調査を行って、大阪平野地下の地質を探っています。



## IV. 関連行事

子ども向けワークショップ、普及講演会、セミナーなどを行います。

<自然史オープンセミナー>

### 「カラスから見た都市の自然」

都市生態系での地上最強がネコなら、空の最強はカラスでしょう。人とカラスの関わり、カラスと他の動物との関係を通じて、都市の自然の特徴を考えます。

日時：平成26年7月19日（土）午後1時～午後3時

場所：自然史博物館 集会室

対象：どなたでも参加できます

参加費：無料（ただし、自然史博物館入館料が必要）

申込み：不要です、直接会場へお越しください。

### 「都市の甲虫相」「移入種アカハネオンブバッタ」

前半では都市部にすむ様々な甲虫類を紹介し、現在では見られないものや、新しく入って来たものなどから都市環境を考察します。

後半では大阪で見つかった外来種アカハネオンブバッタについて、その現状と由来

を採る研究について紹介します。

日時：平成26年10月11日（土）午後1時～午後3時

場所：自然史博物館 集会室

対象：どなたでも参加できます

参加費：無料（ただし、自然史博物館入館料が必要）

申込み：不要です、直接会場へお越しください。

<普及講演会>

### 「田舎のネコと町のネコ」

ネコは世界中のいろいろな所に住んでいます。それは、環境によって自分たちの生活を柔軟に変えることができるからです。町中から草原までそれぞれに違うノネコの暮らし方を紹介します。これから彼らとどのようにつきあっていけばいいかも考えましょう。

日時：平成26年8月16日（土）午後1時～午後3時

場所：自然史博物館 講堂

講師：伊澤 雅子氏（琉球大学理学部海洋自然科学科）

対象：どなたでも参加できます

参加費：無料（ただし、自然史博物館入館料が必要）

申込み：不要です、直接会場へお越しください。

<子どもワークショップ>

### 「おしえて！カラスはかせ」

わたしたちのこと、「ゴミをあらすメイワクなトリ」「人をおそうこわいトリ」と思っていない？ カラスはかせのお話をきいて、本当のわたしを知ってほしいな。お話のあとは、町の鳥をかきとめる「カラスてちょう」をつくろうね。

日時：平成26年8月2日（土）・3日（日）・23日（土）・24日（日）午前11時～、午後1時30分～、3時～（1回約60分）

場所：特別展会場・ワークショップスペース

対象：小学生以上（定員に余裕のある場合は未就学児童も参加可能）

定員：1回15名

参加費：200円

受付：当日受付（各回15分前より受付を開始します）

### 「いえのなか・きらわれものカード」

おれたち、キラワレもののムシ。台所やおふろば、ダンスの中でこっそりくらしている。なにを食べて、どうやって生きているかって？おもしろカードをつくったら、おれたちのことを好きになるかも。

日時：平成26年8月9日（土）・10日（日）・30日（土）・31日（日）午前11時～、午後1時30分～、3時～（1回約40分）

場所：特別展会場・ワークショップスペース

対象：どなたでも参加できます。（小学生未満は保護者同伴）  
定員：1回15名  
参加費：100円  
受付：当日受付（各回15分前より受付を開始します）

### 「まちなかのネコさんぽ」

ぼくは街をあるくのが大好き。さんぽをしていると、いろんな生き物や植物に出会うよ。ネコになった気分で見学室をまわって、大阪の自然を見つけてほしいニャー。みんなで大きな「ネコさんぽ」マップをつくるよ。

日時：平成26年7月20日（日）・21日（月祝）・26日（土）・27日（日）、8月16日（土）・17日（日）午前11時～12時、午後1時30分～3時30分（1回約30分）

場所：特別展会場・ワークショップスペース

対象：どなたでも参加できます。（小学生未満は保護者同伴）

定員：なし

参加費：無料

受付：時間内はいつでも受付。※混雑時はお待ちいただくことがあります。

## V. ブロガーの皆様ご招待について

特別展の広報に協力して頂けるブロガーの方20名を、開幕前日の一般内覧会、または開幕2日間のいずれかに無料でご招待いたします。

- ・一般内覧会：平成26年7月18日（金）午後2時から午後4時30分まで（午後1時30分より受付開始）
- ・開幕2日間：平成26年7月19日（土）または20日（日）午前9時30分から午後5時まで（入場は随時、最終入館は午後4時30分まで）
- ・会場：自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター 2階）
- ・参加頂ける方：以下の2つの条件を両方とも満たす方
  - 1 ご自身でブログを開設されていること
  - 2 ご自身のブログに特別展の紹介記事を必ずお書きいただけること
- ・申込：電子メールに「特別展ブロガー招待申込み」と明記、名前、居住地の都道府県名、電子メールアドレス、ブログタイトル、ブログURLを書いて、平成26年7月14日（月）までに届くように自然史博物館 総務課宛に申し込んでください。平成26年7月15日（火）に抽選を行い、結果を申込者全員にメールにて返信させていただきます。当選者のみ参加方法等の詳細を合わせてお知らせいたします。
- ・その他：当日参加はできません。必ず申込みをしてください。
- ・問合せ／申込先：自然史博物館 総務課  
電話：06-6697-6221 メール：[s-nyukansha@ocmo.jp](mailto:s-nyukansha@ocmo.jp)





F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

### <FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館  
総務課 広報 宛  
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225  
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

## 「ネコと見つける都市の自然 一家の中から公園さんぽ」 プレス内覧会 取材申請書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

### ■ プレス内覧会

〔日時〕平成26年7月18日（金）

午後0時30分～

〔会場〕大阪市立自然史博物館

本館 集会室

※博物館通用口からお越しください。

※プレス内覧会に引き続き、午後2時より一般内覧会も開催いたします。



貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. _____ FAX. _____ e-mail. _____



